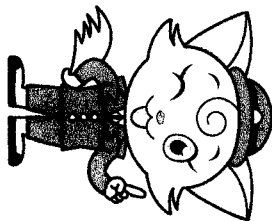


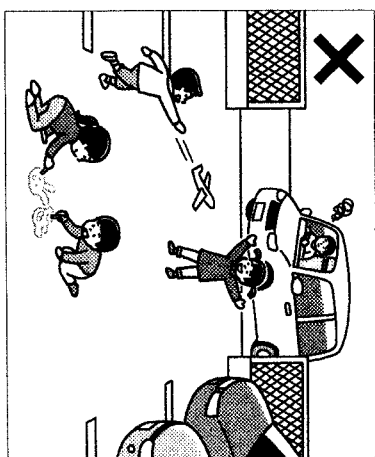
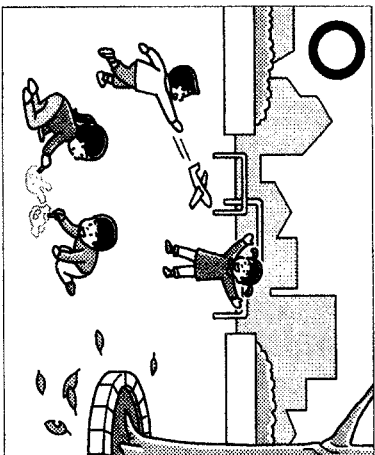
監修 全国学校安全教育研究会／東京都江東区立大島幼稚園 園長 村田有美子先生

駐車場は道路と同じで 遊ぶ場所ではありません

子どもたちが集い、体を動かして遊ぶことは、体力だけではなくコミュニケーション能力の向上にもつながります。しかし、その遊び場が駐車場では危険です。駐車場で遊ぶとどのような危険があるのか、どこなら安全に遊べるのかを、子どもたちに教えましょう。



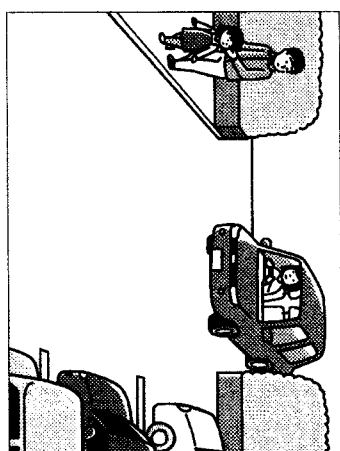
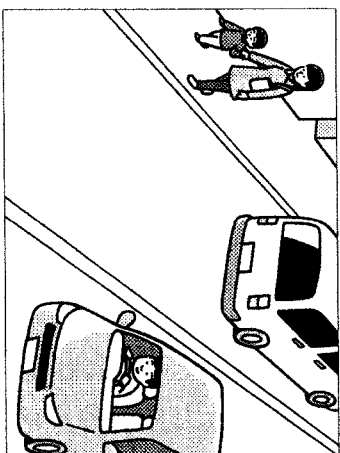
ちゅうしゃじょうは こどもが あそぶ
ための ばしょでは ありません



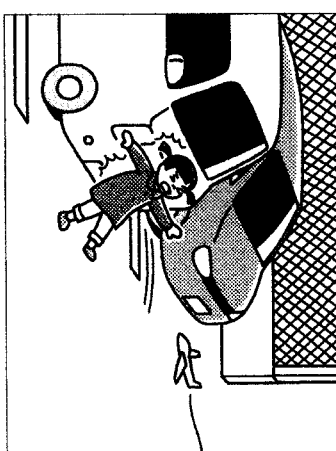
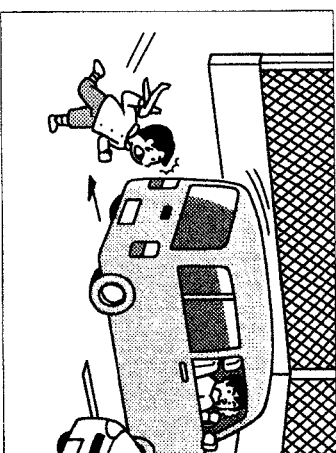
ひろいからといってちゅうしゃじょうで
あそぶのは あぶないから だめだよ。
あそぶ ときには こうえんへ 行って
あそぶように しようね。

保護者の方へ 「家の近くから」「公園まで行くのは面倒だから」と、駐車場で遊ぶ子どもたちの姿を見かけることがあります。駐車場で遊ぶことは、車とぶつかる危険のほか、声や音などが近隣住民とのトラブルの原因になることもあります。遊ぶ時は必ず保護者とともに公園まで行くことを、子どもとの約束にしましょう。

ちゅうしゃじょうは どうろと おなじ



くるまが とおる どうろで あそぶと あぶないよね。
ちゅうしゃじょうも くるまが とおる ばしょだよ。
どんな ことが あぶないのかな？



くるまが きゆうに うごき はじめたり
とまって いる くるまに ぶつかったり
して あぶないんだよ。

保護者の方へ 駐車しようとする車は、前進だけではなく、右折、左折、バック、一時停止と、さまざまな動きを繰り返します。「駐車場は車を止めるための場所」であることを伝え、駐車場では遊ばないことだけでなく、駐車場の中を移動する時も必ず保護者を手をつなぎ、子どもだけで歩き回らないことを約束させましょう。

12月号では、「安全に遊ぶための冬の服装」
について取り上げます。

